

ことしの

仕事

ことしの

予算

3月の市議会定例会で、高橋市長が市政執行方針を説明し、その実現に必要な仕事と予算が決まりました。市は4月から、この予算に基づき様々な仕事に取り組みます。平成22年度の仕事と予算についてお伝えします。

平成22年度 市政運営における重点的な取り組みについて

留萌市では、「市民が主役のまちづくり」を掲げ、市政懇談会などを通して、多くの市民の皆さんとの対話を重ねながら、市が直面する様々な課題に取り組みんでいます。本年度は、財政健全化計画、市立病院改革プランの進捗状況に配慮しながら、留萌の再生のため、次の4つの重点的な取り組みを進めていきます。

救急、小児、周産期など地域医療の確保

市民の命と健康を守るためには、この地域の安心・安全な暮らしを支え、救急医療や高度で専門性の高い医療、地域に不足している医療を提供している留萌市立病院を守らなければなりません。

留萌圏内のセンター病院としての二次医療救急体制の維持や、市民が安心して子どもを産み、育てることができる小児・産婦人科の体制強化をはじめ、人工透析治療の安定維持、循環器科など地域に必要な医療機能の強化に向けて、医師、看護師の確保に全力を尽くします。

子どもや高齢者が安心して暮らせるための配慮

子どもたちがこのまちに誇りを持ち、たくましく生きる力を

身につけていくため、「るもい次世代育成支援行動計画」後期計画に基づきながら、留萌の持つ自然と地域住民の力を合わせ、子どもの「こころ」「からだ」「社会性」を育む環境づくりに取り組みます。

また、少子高齢化や人口減少が続く時代でも、高齢者が満足感を持って健康で暮らしていただけるように「健康都市宣言」の理念に基づき健康づくりを進めます。

経済の活性化と社会基盤の維持

地域に対する国や道の施策を的確に捉え、地域の再生に繋がる事業を進めながら、雇用の確保や地域経済の活性化を図ります。

また、留萌には、おいしいお米や数の子をはじめ、地域が誇る素晴らしい食の資源があり、医学的な視点により地域の食料や食品などに健康面からの新

たな付加価値を見出し、「食」の持つ健康効果を共有できる環境づくりに取り組み、将来の健康産業創出に向けた基礎づくりを進めていきます。

社会基盤の維持については、持続可能なまちづくりに向けて、必要な道路整備や橋梁の補修改善、老朽化した市営住宅の改良事業など市民生活に関連した事業の推進に努めます。

地域力を高め、協働のまちづくりの推進

地域力を高めていくためには、地域の誰もお互いに関心を持ち、それぞれが支え合う協働の地域づくりを進めていかなければなりません。

市民の皆さんとあらゆる分野において「新・協働時代」をテーマに「留萌力」を育て、未来に向けて子どもたちの笑顔、絆、夢を実現させる留萌を目指します。

平成22年度の主な仕事と予算

(☆は新規事業、★は継続事業)

事業名	予算額	内容
生「やる気と活気」 やる気を応援し、活気あふれる都市空間と新しい地域経済をつくるまちづくり		
★ 食・健康価値創出事業	70万円	地域住民の参加、協力により地域の食や住民の食生活を見つめ直し、付加価値を付けるための体制を構築します。
★ ふるさと雇用再生特別対策推進事業	3,589万円	失業者の就職支援を実施し、安定した雇用の確保を図ります。
★ 緊急雇用創出推進事業	1,400万円	離職を余儀なくされた失業者に対し、次の雇用までの短期の雇用・就労機会を創出します。
★ 重点分野雇用創造事業	2,264万円	新たな雇用機会を創出するとともに、地域ニーズに応じた人材を育成し、雇用の確保を図ります。
★ まちなか賑わい創出事業	600万円	まちなかに賑わいを創出するとともに、地域経済の発展に取り組むための連携体制を確立します。
優「思いやりと安心」 思いやりのコミュニティで安心して健康に暮らせるまちづくり		
★ 高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業	175万円	新型インフルエンザなどによる肺炎の重症化を防ぐため、肺炎球菌ワクチン接種の費用の一部を助成します。
★ 地域健康づくり支援事業	41万円	健康づくり体験事業、ノルディックウォーキング体験事業を実施し、健康づくりのきっかけの場を提供します。
★ 障がい者相談支援充実強化事業	55万円	障がい者、障がい児またはその家族が地域で安心して生活するため、相談支援業務の一層の充実、強化を支援します。
★ 介護基盤緊急整備等特別対策事業	3,375万円	介護機能強化と雇用の創出が緊急に求められていることを受け、民間地域介護拠点などの緊急整備を支援し、開設準備経費を助成します。
★ 二次救急医療体制支援事業補助金	3,452万円	市立病院の二次医療体制を確保するために、管内市町村と連携・協力し、支援をします。
地「自然と資源」 自然の恵みを活かし資源を大切にするまちづくり		
★ 南るもい米PR事業	60万円	道内トップクラスの高品質米として評価の高い「南るもい米」の消費拡大やブランド化を推進します。
★ 環境・生態系保全活動支援事業	80万円	国の「環境・生態系保全活動支援事業」制度を活用し、大規模・集中的な機かけ対策に対し、費用の一部を支援します。
★ いきいき水産学習開催事業	35万円	市内の小中学生を対象に海に関する体験学習を行い、海や水産業に対する理解を深めてもらい、将来の漁業後継者の確保に努めます。
★ るもいのお魚創造事業	31万円	道立食品加工研究センターなどから指導を受け、水産物の付加価値販売を行い、留萌ブランド商品の開発を進めていきます。
守「暮らしと安全」 機能的な生活基盤で安全で清潔な暮らしを守るまちづくり		
★ 地域公共交通活性化・再生総合事業	250万円	地域公共交通の現況と課題を分析し、課題解決に向けての実証実験を進めます。
★ 地方消費者行政活性化事業	476万円	消費生活相談窓口の機能強化及び消費生活相談員の育成による消費生活相談体制の充実と強化により、消費者である市民の安心と安全の確保に努めます。
★ 公営住宅ストック総合改善事業	1億148万円	老朽化した沖見町、春日町団地の住戸改善や、あかしあ団地の外部改修工事などを実施します。
★ 留萌市耐震改修促進計画策定事業	475万円	大規模な地震が発生した際に、生命、財産への被害が予想されることから、未然に防止するために耐震改修促進計画を策定します。
宝「夢と宝」 人・文化・地域の魅力と夢を育てるまちづくり		
★ 子育て支援事業	50万円	次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育ち、親が安心して生み育て、地域社会と一体となった育てやすい環境づくりを目指します。
★ 動画情報配信事業	131万円	海のふるさと館にカメラを設置し、全国どこからでも黄金岬の夕陽や海の状況などが見られるようにインターネットによる動画情報配信に取り組みます。
海「海と港」 海と港、留萌らしさを未来へ繋げるまちづくり		
★ 船場公園整備事業	5,000万円	市民や観光客が憩う中心市街地と留萌港に隣接した船場公園を整備します。
★ 三泊地区緑地整備事業	1,600万円	三泊-12m岸壁及び背後埋立港湾関連用地沿いにシンボル緑地・緩衝緑地の整備をします。
信「対話と信頼」 市民との対話による働く市役所づくり		
★ 留萌市応援寄附事業	277万円	「ふるさと留萌」の応援団を広く募るため、制度周知のPRをするとともに、寄附金を将来の具体的な事業に充てるための基金の積み立てを行います。
★ 広報広聴活動事業	1,172万円	民間業者と共同作成している広報るもいをはじめ、さまざまな広報媒体を活用し、市政情報を提供します。また、市民主役のまちづくりを進めるため、さらに幅広く市民との対話を行います。

市政執行方針及び主要施策に関するお問い合わせは、市・企画調整課まで ☎42・1809

平成22年度各会計別予算

(単位：百万円)

会計区分	H22年度 予算額(A)	H21年度 予算額(B)	比較 (A)-(B)	増減率	赤字額()内は黒字額			市債(借金)残高		
					H22年度 予算額	H21年度 最終予算	H22年度 予算連結実績 赤字比率	H22年度末 見込額	H21年度末 見込額	
一般会計	13,018	12,615	403	3.2%	-	-	-	19,619	21,499	
特別会計	国民健康保険事業	2,974	2,932	42	1.4%	490	429	6.03%	-	-
	老人保健事業	5	11	△6	△56.5%	-	-	-	-	-
	後期高齢者医療事業	260	256	4	1.9%	-	-	-	-	-
	介護保険事業	1,661	1,664	△3	△0.2%	-	-	-	-	-
	港湾事業	192	196	△4	△2.0%	-	-	-	1,453	1,537
	下水道事業	1,628	2,072	△444	△21.4%	(0)	(0)	(0.00%)	9,709	9,941
企業会計	水道事業	1,071	938	133	14.1%	(344)	(287)	(4.24%)	3,655	3,550
病院事業	6,251	6,201	50	0.8%	530	798	6.53%	9,277	9,927	
合計	27,060	26,886	174	0.6%	676	941	8.32%	43,713	46,454	

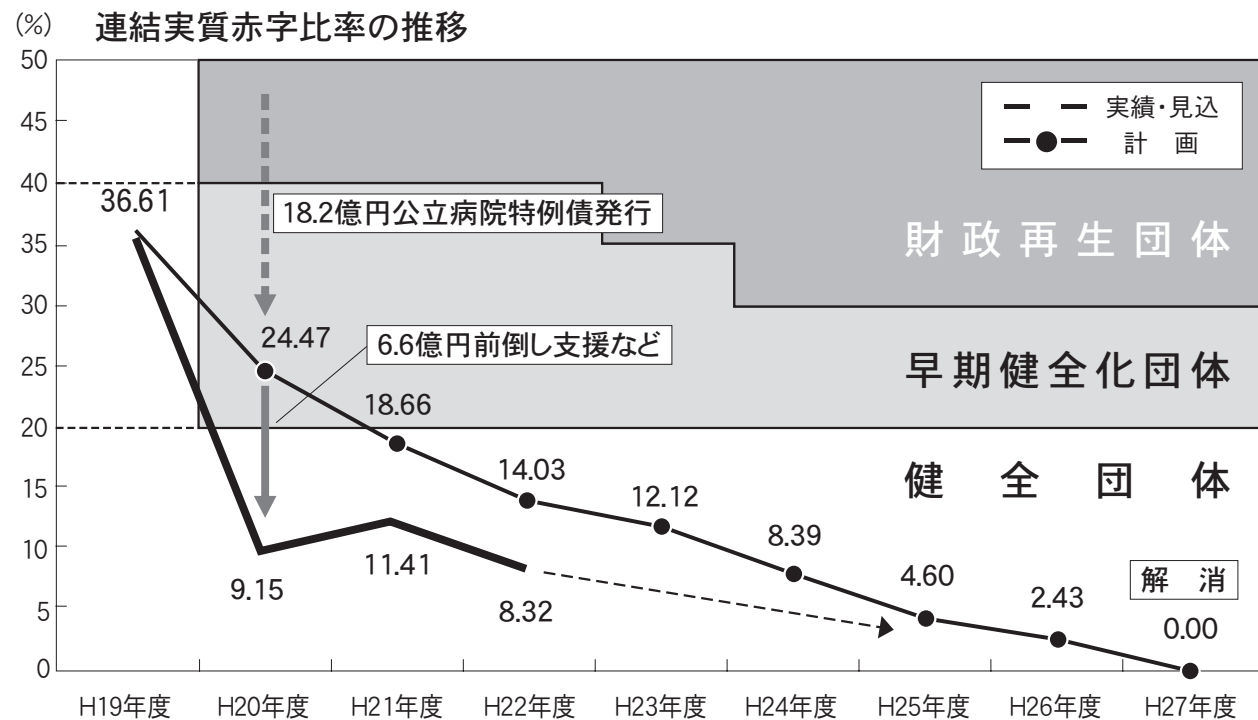
※各会計ごとに端数処理しているため、積み上げと合計額が一致しない場合があります。
 ※平成22年度の連結実質赤字比率は、平成22年度の標準財政規模の見込み8,120百万円に対する赤字(黒字)の割合です。
 ※下水道事業の上段()内の数値は解消可能資金不足額控除後の額です。
 ※病院事業会計の赤字の減少は、一般会計からの不良債務解消支援220百万円と48百万円の経営改善によるものです。

健全化判断比率

連結実質赤字比率は平成21年度決算見込みでは、病院事業会計の経営回復の遅れや国民健康保険事業会計の赤字増加など悪化の要因もありますが、早期健全化基準を下回り、平成22年度予算においては更に改善する見込みとなっています。

また、今後実質公債費比率(借金返済などの比率)が、早期健全化基準である25%に限りなく近づくため、公債費(借金返済)の一部繰上償還を実施し、比率上昇を抑制していきます。

今後も新・財政健全化計画(平成21年度～27年度)を着実に実行し、1日でも早く達成できるように、皆さんとともに努めていきます。

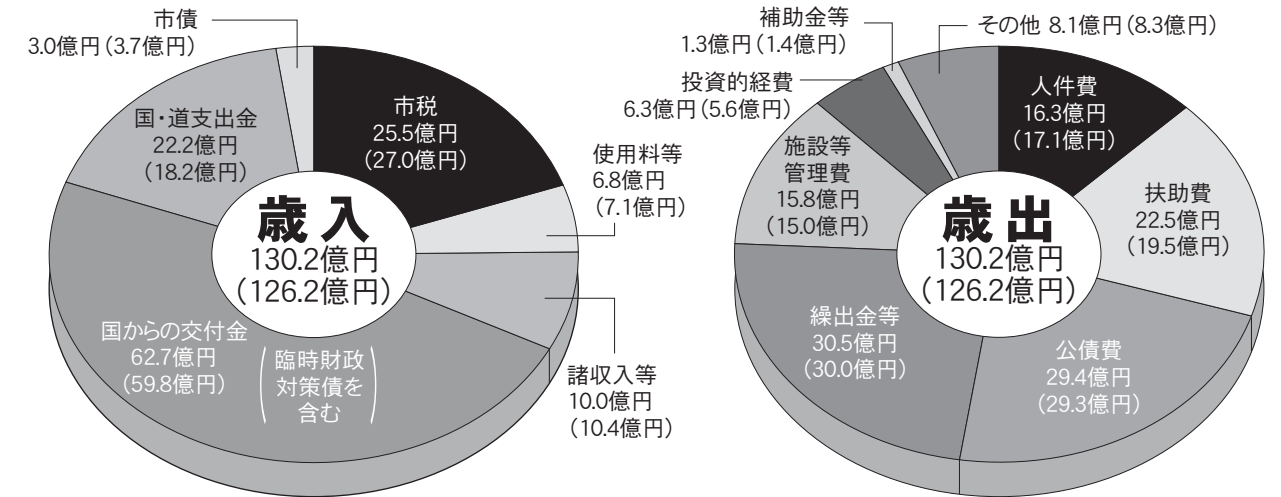


新年度予算に関するお問い合わせは、市・財務課まで ☎42・1813

平成22年度一般会計予算

※()内は平成21年度当初予算額

平成22年度当初予算は、新・財政健全化計画を基本としつつ、地域経済対策や雇用対策、子ども手当の創設、生活保護費の増加などにより一般会計の予算額は前年度比4億円増(3.2%)の130億2千万円となりました。また、市立病院への繰出金は、総額で12億9千万円支出します。



歳入の主な増減

- 【 】内は前年度比
- 市税【1億5千万円の減】
個人、法人関係の税は景気の低迷などにより減少し、固定資産税においては土地評価額が大幅に下落したことから減少します。
 - 国からの交付金【2億9千万円の増】
地方交付税は3億円の増加を見込んでいます。
 - 国・道支出金【4億円の増】
扶助費の増加に伴う国などの負担金の増加や雇用対策にかかる補助金などが増加しています。
 - 市債【7千万円の減】
投資事業に係る市債を限度額(3億円)内に抑え、退職手当債の発行を中止します。

歳出の主な増減

- 【 】内は前年度比
- 人件費【8千万円の減】
職員給与の削減(20%)を継続し、職員数の削減(191人→189人)や新陳代謝、退職者の減少などにより減少します。
 - 扶助費【3億円の増】
子ども手当の創設(1億6千万円)や生活保護費の増加(1億円)により、大幅に増加します。
 - 繰出金等【5千万円の増】
はしご付消防自動車整備で消防組合への繰出が増加(2千万円)、また、下水道事業会計への国の基準に基づく繰出が増加(2千万円)します。
 - 投資的経費【7千万円の増】
老朽化した公営住宅の改修や道路整備など住環境整備、生活基盤整備により増加します。

市立病院への支援の内訳

(単位：千円)

項目	平成22年度	平成21年度	比較	支援の内容	
地域医療支援	救急・小児・産科医療の支援	217,585	202,544	15,041	不採算部門である3科の医療体制を守るため、収支不足を支援
	看護師確保対策支援	25,000	25,000	0	地域医療を担う看護師確保のための財源として支援
	その他の支援	555,951	533,939	22,012	国の基準に基づく支援や病院建設にかかる借金の利息支援など
小計	798,536	761,483	37,053		
不良債務等への支援	特別債償還支援	267,507	295,849	△28,342	公立病院特別債(18.2億円)の元利償還金全額を支援
	不良債務解消支援	220,000	220,000	0	不良債務解消のための支援(約15億円のうち平成20年度は6.6億円、平成21・22年度は2.2億円を毎年支援)
小計	487,507	515,849	△28,342		
合計	1,286,043	1,277,332	8,711		